

令和元年度 指導主事学校訪問 英語科協議会記録

日時：令和元年10月30日（水）15：30～16：10

場所：被服室

指導者 高校教育課指導主事 佐藤純一先生
司 会 加藤奈穂子
記 録 小松拓史
参加者 篠木 聡、奥山栄子、桑原知広、佐藤寿子、阿部大輔

1 授業者から感想・課題等

- ・指導案では展開①と展開②に分けていたが、うまく区切って行うことができなかった。そこが一番の反省点であった。
- ・前時まででワークシートの challenge1step1 まではやっていた。その情報を元に口頭でやっているつもりが、うまく指示できなかった。
- ・ザック先生（ALT）からは「話すスピードが速かった」と指摘をしてもらった。
- ・生徒が発表にオリジナリティーを入れてくれたので良かった。

2 授業参観者から感想・質問・意見等

- ・2年生は来週から修学旅行。日本の世界遺産を知る授業は生徒にとって良い教材だったと思う。
- ・積極的に発表できる生徒が多いのは、これまでの恵先生の指導によるもの。グループで協力して一つのものを作り上げていくのが良かった。
- ・英語を活用して生徒が動いている。英語への抵抗がなくなっているようだ。一緒に学びたいと思った授業であった。
- ・生徒の学力向上に皆頭を悩ませているが、生徒の姿勢を見てほっとした。3年間で何かを得られるのではないか。やり方次第で生徒は伸びると思った授業である。いきいきと学校生活を送れば財産になると感じた。
- ・私の隣の席で授業の準備を頑張っていた。
- ・タイムリーな題材。興味関心が高まった。
- ・英語が苦手な生徒もいるが、一人ひとりに役割を与えており、達成感のある授業だったのではないか。
- ・生徒の発言を否定せず、生徒の言葉を生かしていた。
- ・プリントの指示が少し不足している場面があった。
- ・疑問から興味関心が出ると良いと思った。
- ・英語の授業を見るのは久しぶりであった。ほとんど英語で指示しているのが新鮮だった。
- ・「聞く・話す・書く」のすべてが盛り込まれ、コミュニケーション能力も必要とされる盛りだくさんな授業だった。
- ・導入から展開への移りも良く、ザック先生と共に机間指導を適切に行っていた。
- ・エネルギッシュでパワフルな授業。ハンド部も多く活気のあるクラスだったのが良かったと思うが、違った雰囲気だったらどうしていたか？

- ・他のクラスも同様の内容を行う予定。今回のクラスはリアクションの少ないクラスだったが、良くできていた。
- ・全員参加で頑張っていた。
- ・フルセンテンスで答えさせているのが良かった。
- ・マンダラシートの使い方をぜひ教えてほしい。
- ・なぜこのグループに投票したか、ザック先生のコメントなどがあると良かった。
- ・ここまでの準備はどのようにしてやってきたか？
- ・単元にもあるサグラダファミリアの情報集めを行い、そのあとアメリカの世界遺産の説明を行った。そして本時の京都の世界遺産の魅力に続いている。その後次時で単元に戻っていくという流れ。
- ・ゲーム感覚で授業に入っていて、喜んで生徒がやれる内容。
- ・評価を自分か他者かの指示、あるいは先生につけてもらうなどすると良かった。
- ・ザック先生が全体にしゃべる機会があっても良かった。

3 指導者助言

- ・以前から楽しみにしていた授業。授業に至るまで時間をかけていた。
- ・「学びの連続性」。学びのスパイラルを求めて授業をしてもらった。この連続性（聞く・話す）が、自然なコミュニケーションを作り出す。
- ・一つやって次、という生徒を乗せる話し方が良かった。
- ・授業内の指示を日本語で行いたくなるころだが、英語での指示を通していた。
- ・生徒の雰囲気良く、グループ活動が良くできていた。ゴール（発表）がぶれずにできていた。
- ・授業の流れが板書にて示されており、分かりやすい。生徒全員が理解している。
- ・前回の授業で得た知識を使って文章を作っている。振り返りの一つである。
- ・周囲の生徒がサポートする体制が強い。また、生徒が上を向いて話をしていて、自信を持っている様子である。
- ・ALTとの信頼関係がある。
- ・授業の内容について、もう少し深まりがほしい。生徒は力がある。
- ・step4において、メモなのか感想なのかの指示が不足していた。
- ・次の授業にどうつなげていくか、次の授業をどう振り返るかが大切。
- ・先生方は、単元の中で今の授業がどんな意味を持つのかを考えて授業に臨んでほしい。単発の授業として考えているとできないことである。これによって生徒の主体性が育まれる。
- ・中学校の活動（学習歴）をよく見ておくこと。そしてこれを高校の授業の構成に生かすように。

令和元年度 指導主事学校訪問 商業科協議会記録

日時：令和元年10月30日（水）15：30～16：10

場所：図書室

指導者 高校教育課指導主事 近藤俊春 先生
司 会 小川卓也
記 録 小野寺裕美子
参加者 岡田 功、仙道貴史、富谷朋子、佐川昌子

1 授業者から感想・課題等

- ・答えのないテーマを設定し、生徒の表現力を試した。
- ・導入でもう少し振り返りをした方が良かった。
- ・生徒、教員共に伝える力の大切さを実感した授業だった。
- ・全員に発表させたかったが、時間の関係でできなかった。

2 授業参観者からの感想・質問・意見等

- ・社会に出てから活かすことのできる力がついていると感じた。
- ・発表の聞かせ方が良かった。
- ・2年生からコースに分かれて学習しているが、2年間でどちらのコースの生徒も力をつけていると思った。
- ・指示が的確だった。

3 指導助言

- ・振り返りシートの活用、授業のまとめが学校全体で行われていて良い。
- ・生徒の振り返りの視点が、本時の目標の立て方に繋げることができる。
- ・普通高校の商業科の立ち位置は、社会に繋がるもの。
- ・テーマを、もう少しビジネスに寄ったもの、答えや考えがばらつくものでもよかったと思う。
- ・大量のデータを与えても面白かったと思う。
- ・他の生徒の発表を聞く姿勢が良かった。

4 その他

○振り返りシートの活用について

- ・知識を学ぶ授業の時は活用できるが、実習では難しい。
- ・少人数授業なので、シートにしなくても把握できている。
- ・活用の仕方が難しい。
- ・生徒目線のコメントを見ることができ、新鮮だった。